ボートピア考

楠町吉崎にボートピアができるという話が飛び込んできたのは、前号の磯津通信の編集が一段落して、いざ発送という時でした。紙面に反映するのはあきらめて、とりあえず直接関係しそうな地域の皆さんに朝日新聞の記事（後掲）をコピーして入れさせていただくのが精一杯でした。その後、周辺自治会での説明会が開催され、楠小学校区では少なからず話題になってきました。

※　そもそも「ボートピア」って何なの？

競艇（モーターボートの競争）の場外発売所でボートとピア（pier 埠頭）を合わせた造語。ユートピア（理想郷）を連想させるのもミソ。新設の競艇場をつくるのが難しく、テレビの中継システムを利用して舟券の販路を広めるために 2000 年代以降各地でつくられようとしている賭け事の施設。

さていつも、１日 10 数人しかアクセスのない「いそかんブログ」もこのボートピア問題ではいくつかの書き込みがありました。まずはそれから話を起こしていきたいと思います。

磯津環境学校（いそかん）ブログから

吉崎にボートピア！？

磯津通信電子版のレスに楠のお母さんから「先生、吉崎に競艇の場外舟券売り場ができるってご存じ？」の mail が入って、ビックリ！！朝日新聞の２月９日　の記事を元に、知人たちに問い合わせ、ボートピアの功罪を検索し、現地に飛びました。なんとそこは１２月探鳥会をした養鰻池のすぐ南側。ちょうど下校時で　たくさんの小学生が歩いていました。

場所的には楠緑地公園の真っ直ぐ東。この写真にも「絵のある堤防」の絵が写っていますが、海の近くです。直接の吉崎自治会は誘致賛成を決めたそうですが、この先議論は広がるでしょう。「どう、自然や子どもたちに優しい町づくりをするか」という軸を据えて議論していきたいものです。

No title

（一部改行、改行は編集者）

はじめまして。日々の活動ご苦労様です。
ボートピアの話ですが、個人的には　賛成派です。
地域の方々の優遇雇用、そしてあの辺り　夜はちょっと暗すぎる気もしませんか？不気味なくらい・・・・
吉崎にも年間数百万のお金が流れメリットもそれなりにあると思います。 デメリットもあるかと思いますが　パチンコ屋　競輪場（場外）など　公営ギャンブル施設は四日市にも多々あります。
ボートレースFANもいます。
三重にもかなり強い選手もいます。
昭和のころの競輪場や競艇場も汚い、酔っ払いイメージがありますが　現在の公営ギャンブル場は　おどろくほど綺麗で快適な場所ですよ。

（2013-03-06(09:14 磯っこさん）

絶対反対です。

私は、楠町民です。
あくまで噂ですが、ボートピアが出来ることにより、新Ａコープ近辺の土地が買い上げられ、怖い輩が住み着くというのも聞いています。
住みやすく、子供に優しい街づくりになるのでしょうか?
交通量も増え、今まで子供が遊びに行けたのに、安心して送り出せません。
楠町北五味塚在住の〇〇が、私利私欲のために持ち込んだ話だと聞いています。
何でギャンブル施設なんか・・・ととても嫌悪感を抱いています。
明るくするのなら、もっと健全なものでもいいのではないでしょうか!!
怖いです。

（2013-03-06(19:23)： ぺんぎんさん）

（下線の 2 文字だけを伏せました。ご本人から電話があり、特定されては心外と言われ、それに配慮しました。ぺんぎんさん、勝手にゴメンナサイ。編集者）

誰のため、何のため

磯っこさん、ぺんぎんさん、コメントありがとうございます。今のところいくつかの情報でつかんでいる一部ですが以下のようなことです。
・ 全国 124 カ所で設置計画が生まれ、14 カ所で開設（1 カ所その後閉鎖）。一方、54 カ所は PTA や住民の反対で設置できず。
・ 開業すると、受入自治体に売り上げの 1.5%（上限）、施行自治体に同 4.5%、土地建物所有者に同 5.5%、船舶振興会に同 3.3%が入る。
・ 1985 年から法改正でボートピア設置が可能に。過疎や空洞化の地域が対象となり、自治体幹部や有力者が話をされ、住民に知らされるのが遅いケースが大変多い。

また、地元やボートピアの実際も見ながら、「誰のため、何のため」か意見をお聞かせ下さいな。

2013-03-07(22:41)：ハギー（私、萩森です。）

ニュートラルな視点から。

いそかん新聞いつも拝見していて、このボートピア建設予定の写真が入ってました。
既に不動産業者が土地を所有している事実からして建設されるのは容易なことですね、しかしこれを断念した場合この用地は売却なり転売されることとなるは必至で準工業地域の場合何が建てられても問題は無く海に面した低地の悪条件であることからスクラップとか産廃などの業種が集まる危険な地帯となりうることも考えなけらばならないと思います。

3 月 3 日地元の説明会で業者側は「地域貢献も大前提に考えておりこのような悪人呼ばわりは心外」であると最後に申しておりました。この様な施設を反対したい場合、業者と誘致する地域との間で協議会があるはずですから、そこへ参加して安全策、治安策をしっかり業者側へ指摘をして、そしてそれに対して業者側も 熱心に対応してきますが、数字的な根拠としっかりした理屈で「不安解消には至らない」ことを突きつければ基本合意にはならないのです。他地域でも大きな反対運動などで断念した経緯もありますが、単体自治会が同意したら法的には何ら問題なく強引に建設されてしまう危険も充分にあります。3 日は説明会か反対決起集会か分からない状況でしたから、業者側を硬直させた感じもしました。議員が関連した噂話を持ち上げる場面がありま

したが（私利私欲なら楠全体の自治会代表機関に紹介せずに単位自治会へ紹介するでしょう）、この地区の様相が見えてきた感じです。安全や治安の事を議論するのでが本質的な目的ではなくて、この問題を絡めてこの地区の自治会関係者らの考えが他意に集中していることを感じました。子供たちの安全を守ることを真に願う方々には冷静に行動して欲しい と感じます。業者の言葉にもしっかり耳を傾け紳士的な態度で臨み、自分等の主張もしっかりと理論立ててすれば良いのですから。

（2013-03-10(10:53)： うみがめの卵さん）

（建設予定地のすぐ横はカモがいっぱいの池）

ニュートラルさんへ（うみがめの卵さんへ）

貴重なご意見ありがとうございます。

吉崎での投票の時の様子をうかがいました。３回目の会議で紙で投票し、みんなの前で公開で開票されたそうです。ただ、その方はもう「織り込み済み」でなんか最近の A・COOP の建設もその線上かと今は思ってしまうとおっしゃってみえました。

東町は大勢が反対のようですね。去年６月から下で下でできあがってきたことへの不信感をその方は語ってみえました。ニュートラルさんのような大所高所に立って紳士的にできるといいのですが地域によってはもうできることを前提に、ガードマンを立てる、ゴミ対策をする、交通渋滞を解消すると言われても、それは誘致前提の方の考え方だと思われているようです。

磯津でも、漁業関係の方々に伺いましたが個人的には反対だなというお声が多そうですね。

（2013-03-11(20:46)： ハギー ）

ハギーさんへ

「功罪」とありましたが、まさにその通りですね。
反対の方々の想いはその通りだと思います。ですが「貢献」の部分では否定出来ない実績もありますから、日本財団（旧船舶振興会）による福祉車両の充実、WHO（世界保健機関）を通じた天然痘撲滅に民間としては世界一貢献した実績、今でもハンセン

病治療予防に貢献しています。基本モーターボートファ ンの皆様の収益金であることは事実です。
この楠地域の方々にとっては関係ない事でしょうが、街中を走っている日本財団の顔の書かれた福祉車両をどう判断するのでしょうか？博打の金で施された悪しき車両でしょうか？
日々多くのお年寄りや障害をお持ちの方々に役立っている必要不可欠な車両だと思います。

さてボートピアに限らず、多くの人々が集まる施設ですから当然進入経路や警備の相談もあって当然でしょう。
この前の説明会は青写真の段階ではなかったのかな？地域代表の自治会長らが不安要素を抽出して業者との折衝を重ねて積み上げているところだと感じました。（地域代表者は白紙の段階であると申していましたから）
業者から申し出があり、不安要素の検証を行って地域に紹介をしておる訳ですから、何にも検証もせずに地域に「どうですか？」と話しを下ろされたら、「無責任な！」と言われるでしょうね。ハギーさんのお住まいの地域では無い事だと思いますが、この楠地区は合併後 10 年を迎えようとしてますが未だに 行政依存の気風が強く自立心が薄いと感じます。今回のボートピアの内容は決して感心できるものではありませんが、今までは無関心と先送りを続けてきた地区関係者が自ら何かに取り込もうとした気概は評価したいと思います。（前向きか無謀か評価は分かれると思いますが）

（下線を施したのは編集者です。後で引用しますのでその注意喚起です。）

（2013-03-12(10:21)：うみがめの卵さん）

ここからは、私（萩森）の磯津通信用の書き下ろしです。

●「ボートピア名古屋」を見てきました。

百聞は一見にしかず。東海地方唯一の名古屋市港区にある施設に行ってきました。後で触れますが、交通の至便なところに立地する「都市型」のボートピアです。主任の柴さんにお会いしましたが事前アポがとってなかったので場内すべては見られませんでしたが、１～3F の主なところは自由に見せていただきました。

ワンフロアーは体育館ほどの広さで、２連の一般席が約 250 席。大型スクリーンが３連。後ろにも５つほどのスクリーン。お客さんは殆どが６０代を越

えたと思われる男性。女性はその日は 200 人の中で２人ぐらい。椅子や床には新聞や投票券が散乱し、常に掃く人が客席の間を回ってゴミを集めています。その女性の話では、普段は大体こんな感じで、休日は家族連れもチラホラとか。

戸田のレース、第 7 レース 6 分前、場内の放送が呼び込んでいます。30 人ほどの立ち見の集まりが画面のデータに見入り、レースが始まると必死、しかし、程なく漏れるため息。あまり、歓声など上がりません。概して、意外と静かな場内。椅子にもたれて寝ている人もいます。場内周辺には売店もあり、フードコート、分煙室も用意されています。

しかし、この何とも言えない漂う「年寄り感」。よどんだ空気と虚脱感はなぜでしょうか。若いコンパニオン（アクアコンシェルジュ）の女性が配してあるのですが、その不調和。ひと頃に比べたらきれいで快適と言われますが、この退廃した感じはどうも馴染めない感じがしたのです。

●吉崎は最適地、最適施設か

場外発売場、ボートピアの立地は鉄道・公共交通の便利な「都市型」と大規模な駐車場を整備し高速やインター付近に立地する「郊外型」があります。ただし、共に近隣に公営競技の施設が存在しない、競合を避ける場所が選ばれるのが普通です。

それらの意味では、吉崎はもちろん郊外型に属しますが、四日市けいりん、津競艇もかなり近くに存在し、しかも交通アクセスは決していいわけではありません。平成６年にも数 km 近隣の鈴鹿市神戸（かんべ）で中勢病院跡地をめぐって進出を企図したのもボートピアでした。それは、自治会、子ども会、PTA などの請願・署名の反対にあい撤退しました。

開場当初を 1 年に直して年間 350 日、最大 1 日 4 場売ることができるボートピア習志野では夜だけでも 1 日平均 1,025 名、平均 304 台の車が利用しています。（第 2 回ボートピア習志野環境委員会会議記録より）ボートピア設置基準にも「文教施設及び医療施設から適当な距離を有し、文教上又は衛生上著しい支障をきたすおそれがないこと」とあります。吉崎は文教施設もある楠緑地公園からも極めて近い距離にあります。その上ナイター営業は相当大きな影響を地域に与えることは想像に難くありません。

鳥たちもこの議論の推移を見ています。（苦笑）

私たち磯津環境学校の探鳥スポットでもあるすぐ隣の養鰻池では今もたくさんのカモたちが休んでいます。「土地の持ち主の経済活動になかなか意見は挟みにくいですが、地元の皆さんが自然を残してほしい、潤いのある場所を守ってほしいという声を届けることです」と野鳥の会の先生は言われます。希少種の

オオタカもいますが、営巣はしていませんが、アセスや調査は必要ですね。
　ボートピア施設を津波などの非常災害の一時避難所にというお話もあるようですが、たくさんのボートピア利用者がその時パニック状態になって道路にあふれ、かえって地元の人たちの安全な避難を妨げる心配の方が多く指摘されています。

　ブログ投稿の「うみがめの卵」さんが、この地域は「準工業地域」でボートピアを受け容れないと「スクラップとか産廃などの業種が集まる危険な地帯となりうる」と書いてみえますが、右図紫色の部分が「準工業地域」です。ここは吉崎・東町全域をカバーする地域でそんなことを住民の皆さんは許すはずはないでしょう。
「行政依存の気風が強く自立心が薄い」楠町民などとは言わせますまい。
（それと、この「準工業地域」という認識は議会関係者か行政の者でないとあまり知らないことのようです。私も四日市市の都市計画課で 525 円払って地図を手に入れてやっと確認しました。）

●子どもや町の人が楽しむ施設ではない

　ボートピアが学生も含め、子どもたちが立ち入れない施設であることは言うまでもありません。（楠の父母の方々は、その施設に未成年が入ろうとすることにも神経を尖らせています。）前述の習志野環境委員会の議事録でもボートピア帰りの人にたかられたとかお金を貸してと声をかけられたなど風紀上のことが問題になっています。多分楠・塩浜のオジサンたちが頻繁に利用すると言うよりも外部の人のが多いでしょう。
　賭け事・ギャンブルを愉しむのは自由ですが、地元密着の地域の人たちのためのレジャー施設でも健康・娯楽施設でもないことは事実ですね。

●この誘致工作、何かに似ている

　１日開催すると吉崎の自治会に１万円入るとか（金額や提示された事実は定かではありませんが）、公会所の改築とか、地元への金銭的誘導、…「それは原発と同じじゃありませんか、先生」というメールがいくつか入っています。「きっと、そういう施設なのかも知れませんね」とお応えしたのですが、中学校給食で辛酸をなめさされ、公的施設のサービスが合併後とみに後退させられている楠町民の足元を見ているとしたら、許されることではありません。

（文責　萩森繁樹）